

■活動概要

2025年度開始の「Augmented State プロジェクト」における意識変容の研究や脳波測定では、個人研究とは異なる知見を得ることができた。画家・安喜万佐子氏との共同制作では、広島市の被爆遺構取材に基づく写真作品を川崎市岡本太郎美術館で発表。数万人が来場する大規模展での成果発表は有意義な機会となった。また、長年継続する「BYT」シリーズは、16年間の自作から12本を自選したオムニバスムービーの上映や、他作家による同シリーズ作品の上映を通じ、活動をさらに深化させた。加えて、過去の日記映画の静止画からAI動画生成を用いた短編を制作し、実作を通して現代技術への考察を深めた。

■プロジェクト

2025年は、Augmented State プロジェクトに所属。前期は資料映像の鑑賞を含む意識変容についての研究を進めた。また、ブライオン・ガイシンが1960年代に開発した意識変容装置「DreaMachine」の再制作、そして、脳波測定のテストを行った。後期は、毎週のミーティングを中心に、「DreaMachine」鑑賞時の脳波を教員、学生7名について測定した。また、第30回 一般社団法人 情報処理学会シンポジウム [インタラクティブ2026] インタラクティブ発表のエントリーを進めた。

展示: (2025/07/23,24) IAMAS OPENHOUSE 2025 にて、
ASP-Exhibition を センタービル4F シアターにて開催
・再制作した「DreaMachine」の鑑賞体験
・脳波測定のドキュメントを映像展示

学会: 第30回 一般社団法人 情報処理学会シンポジウム
[インタラクティブ2026] インタラクティブ発表へのエントリー
「Dreamachine VR: サイケデリック体験を誘発する脳波駆動型VR」
亀田美裕, 寺田博亮, 松本朋己, 岩崎李音,
平林真実, 前田真二郎, 飛谷謙介, 小林孝浩

■広報委員会

2024年度(2025年3月)までは委員長、
2025年年度からは副委員長として、委員長の業務を補佐。
IAMAS WEB イベントレポートと学生インタビューの担当は継続。

- ・ IAMAS WEB イベントレポート
 1. OH25「博士後期課程おしゃべりサロン」 レポート執筆: 山口達典氏 (8/15 公開)
 2. 日本記号学会「繭の記号論」 レポート執筆: 秋庭史典氏 (8/19 公開)
 3. 養老天命反転中!「バランスからだ自転車」 レポート執筆: 志村翔太氏 (12/3 公開)
 4. glow展(新宿眼科画廊) 原稿依頼: 多田かおり氏
 5. エクストリーム・バイオロジーズ展(スイトピアセンター) 原稿依頼: 逆巻しとね氏
 6. アーティスト/リサーチャー・イン・レジデンス 原稿担当: 高森順子氏
- ・ IAMAS INTERVIEWS 2025 (WEBと印刷物・下記4名を収録)
学生インタビュー
 1. 「漂い、見つけること」 対中 優
 2. 「僕は自転車に乗っていただけで、巨人の肩に乗れたかは分かりませんが」 志村 翔太修士論文インタビュー
 1. 「夜の路上の光の動きから記憶を想起するプロセスを作品制作を通して探求する」 成瀬陽太
 2. 「芸術を通して探求し、治癒の概念をより拓いていく」 後藤朋美

■RCIC 産業文化研究センター

広報・情報アーカイブ活動を担当

- ・ 卒業生インタビューページの制作
IAMAS Graduate Interviews (2025年は4名を追加)
 1. 長野 櫻子 (2024年修了) 聞き手: 松井茂教授
 2. 守下 誠 (2021年修了) 聞き手: 赤松正行教授
 3. 厚木 麻耶 (2021年修了) 聞き手: 金山智子教授
 4. 鹿島田知也(2009年修了) 聞き手: 赤羽亨教授



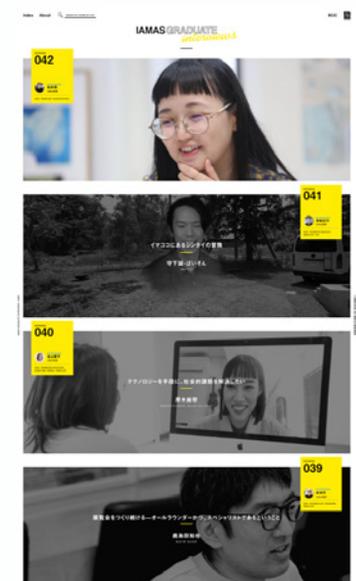
ASP-Exhibition (Augmented State プロジェクト)
「DreaMachine」の再制作
IAMAS OPENHOUSE 2025 シアター



「DreaMachine」鑑賞時の脳波測定



学生インタビュー2025



IAMAS Graduate Interviews

■個人研究・発表

2025 11.09,121

『じぶん、まる!』公開記念「映画作家・釜利子特集」
ポレポレ東中野

Bプログラムにて釜利子監督による、
《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW》3作品の上映
(指示書をもとに制作する短編映画の企画を担当)

2025 07.19 -10.19

戦後80年《明日の神話》次世代に繋ぐ 原爆×芸術
川崎市岡本太郎美術館

グループ展に画家・安喜万佐子が参加
(フロタージュと写真の組み作品2点を出品)
写真作品の撮影および展示監修を行う

2025 03.22

Experimental film culture vol.6 in Japan ~ポレポレオルタナティブ~
space&cafe ポレポレ坐
前田真二郎 作品個展上映

《BYT 2008-2024》を上映(上映67min +トーク30min)
16年間に制作した自作のBYTから12本をセレクトしたオムバス・ムービー

2025 03.01,02

イメージフォーラム・シネマテーク No.1078
前田真二郎 × 芹沢洋一郎
「映像から見えるもの」上映と対話
イメージフォーラム3F「寺山修司」

2人展にて90年代の過去作、近作の長編、未発表の新作を上映
03.01 クロストーク:1995年の実験映画
03.02 クロストーク:撮影する映像作家

2025 02.11

展覧会「しないでおく、こと。—芸術と生のアナキズム」
豊田市美術館
グループ展出品作家、関連イベント
「大木裕之《松前君とトヨタ君の映画》ワールドプレミア上映」

「映画／映像セクション」にて大木裕之監督による、
《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW》4作品の上映
(指示書をもとに制作する短編映画の企画を担当)

■個人研究・制作

《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW》

「天満橋 大川 (大阪)」 「三軒寺町広場 (伊丹)」 「兵庫県 伊丹市」
(2025.11/ 15min / FHD / 監督:釜利子 / 企画:前田真二郎)

《日々“hibi” AUG with AI 》

(2025.09 / 8min / FHD / 監督:前田真二郎)

過去作の日記形式の映画から、静止画を選出し、
それらから AI を用いて動画を生成し一本の映画を制作

《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2008-2024》

(2025.03 / 67min / FHD / 監督:前田真二郎)

16年間に制作した自作のBYTから12本をセレクトしたオムニバス・ムービー

《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW "ITO-kun02"》

(2025.03 / 5min / FHD / 監督:前田真二郎)

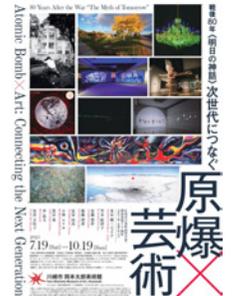
指示書に基づいて制作する5分間の短編映画の制作

《Between Yesterday & Tomorrow May_be, sei, shi, shi_go》

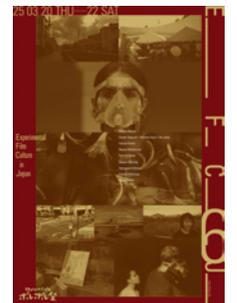
(2025.02 / 20min / FHD / 監督:大木裕之 / 企画:前田真二郎)



映画作家・釜利子特集 ポレポレ東中野



戦後80年《明日の神話》次世代に繋ぐ 原爆×芸術



Experimental film culture vol.6 in Japan



前田真二郎 × 芹沢洋一郎
「映像から見えるもの」上映と対話



《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2008-2024》(2025)



《BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW "ITO-kun02"》(2025)

■学会活動

- ・日本映像学会中部支部幹事

2025 12.14

日本映像学会中部支部 第2回研究会

研究発表:鈴木清重 林亮太

招待講演: Scott Allen

ホスト校:IAMAS(オンライン)

(モデレーター: 前田真二郎)

2025 12.06,07

第19回インターリンク:学生映像作品展 [ISMIE]2025

主催:日本映像学会・映像表現研究会

名古屋会場:愛知芸術文化センター(ホスト校:名古屋学芸大学)

M2 中岡孝太・《one day ///tokyo (neo/x)》上映

2025 01.12

第18回インターリンク:学生映像作品展 [ISMIE]2024

主催:日本映像学会・映像表現研究会

オンライン(ホスト校:日本大学芸術学部)

M2 宮崎那奈子・《Seeing Exercise》出品



■社会活動

- ・ISCA 2025 (INTERNATIONAL STUDENTS CREATIVE AWARD)
「国内映像コンテンツ部門」推薦教員(2013年から継続)

- ・MIF 2025 (MOVING IMAGE FESTIVAL) 推薦教員

- ・MIF 2025(名古屋プログラム)

修了生・宮崎那奈子《Seeing Exercise 2025》を上映

愛知芸術文化センター(主催:名古屋学芸大学)

参加校教員による公開トークに登壇

(司会含めて10名によるトークセッション)

- ・芸術研究科講演会

前田 真二郎「映像—発見の方法をめぐって」

京都精華大学 黎明館 L-002 (2025 10.21)

主催:京都精華大学大学院 芸術研究科

聞き手:小松 敏宏(京都精華大学 芸術研究科長)

- ・ぎふ美術展 企画委員 写真部門担当(2016年から継続)

岐阜県美術館にて「第6回ぎふ美術展」を実施(2025.8.17-9.1)

- ・第6回ぎふ美術展 関連プログラム

クロストーク 鈴木理策 × 前田真二郎

テーマ「みるということ」

岐阜県美術館 講堂(2025 08.11)



2025/10/21*
16:20-開始|入場無料
京都精華大学 黎明館 L-002

清流の国ぎふ芸術祭 ぎふ美術展

